

RD250

1973年 / 市販車

ヤマハ発動機の2ストローク2気筒スポーツモデルの系譜を受け継ぎ、レース活動で培った数々の技術がフィードバックされ、力強く扱いやすい中低速性能・俊敏な加速性能を発揮、フレームや前輪に油圧式ディスクブレーキを採用した車体とともに「人車一体」の軽快なフットワークを実現した軽快な走りはライバル車を圧倒した。

RD250はヤマハ発動機の2ストロークスポーツモデルの集大成ともいえる存在であり、このモデルで培われた技術やデザインは後の水冷2ストロークエンジンを搭載した「RZ250」へと引き継がれ、一大旋風を巻き起こす原動力となった。



COMMUNICATION
P L A Z A